



福岡市の学習塾「あいむ」は、立命館アジア太平洋大学の学生が主に大分県内の児童・生徒にオンラインで教える家庭教師事業を始めました。

2020年6月30日付 大分合同新聞
GXPRESS ビジネス3面

オンラインの家庭教師事業 バイト減り生活苦しい留学生応援

学習塾「あいむ」(福岡市)

福岡市の学習塾「あいむ」ではコロナ後、立命館アジア太平洋大学（APU、別府市）の学生が主に県内の児童・生徒にオンラインで教える家庭教師事業を始めた。生活が苦しい学生を応援する取り組み。

日本人学生は高校生に英語、国語、数学、社会、理科を中心に教える。留学生は英会話を受け持つ。現在は受講生とアルバイトがともに10人ほどという。

地元の人を利用しやすいよう、大分県内の小・中・高校生の受講料は1回（1時間）2千円と学生に払う人件費程度に設定した。県外の受講生もいるという。



運営する藤野莊子さん(27)＝福岡

市、顔写真＝はAPUの卒業生。中学生の頃に不登校を経験したことから、学校に行きたくても行けない子どもたちのために、2019年、オンラインと対面の塾を立ち上げた。

新型コロナウイルス感染拡大前には、特定の地域で事業を展開するつもりはなかったが、先輩がアルバイトがなくて困っていることを知り、自身のビジネスモデルを利用して行動に移した。

高校生に英会話を教えているタイの留学生、ティチカモン・モドゥアンさん(22)＝アジア太平洋学部4年、別府市＝は「アルバイトが減って生活に困っている仲間もいる。受講生が増えたら、経済的な助けになるのではないかと期待している。



オンラインで高校生に英会話を教えるティチカモン・モドゥアンさん。「ずっと1人で過ごしていたのでこういう形で人と話せるのが楽しい」と笑う＝別府市

① 塾を運営する藤野莊子さん（27）がこの事業を始めた理由は何でしょう？

.....

.....

②日本人学生、留学生はそれぞれどんな教科を受け持っていますか？

.....

.....

③高校生に英会話を教えているタイの留学生、ティチカモン・モドゥアンさん（22）は何と話していますか？

.....

.....